



「地域の安全守ります」

亀が岡団地で自主パト隊

「カン、カン」。団地の一角に拍子木を鳴らす音が響く。

逗子市小坪の亀が岡団地で4年前から自主パトロールを行っている組織がある。「亀が岡防災・防犯会」、通称「KBB」だ。写真。メンバーは自治会の役員経験者を中心とした約70人。KBBと印字された帽子とシヤツをトレードマークに、8月を除いて1年間ほぼ毎日2回、持ち回りでパトロール活動を行っている。

同会、「これまでの体制ができていたのはうちぐらいのもの」とメンバーの一人は自信をのぞかせる。会には見回りのほかに地域で世代間交流を深める目標もある。毎年夏休みと冬休みには地域の子どもたちとともに見回りをする「子どもパトロール」を実施。3回参加すると感謝状と記念品がもらえる。とあって、参加者も増えてきた。

「拍子木の音が聞こえると安心する」といった声も寄せられるようになった。一方で、災害時のマニュアルを作成し、自治会会員に配布しているほか、要支援者の支援体制を確立するなど、防災対策にも力を注ぐ。

今年3月にはこれまでの実績が評価され、県警本部長から表彰を受けた。会長の中田年記さんは「4年目で活動が実を結んできた。会員の高齢化など課題はあるが、一過性で終わらないように今後も続けていきたい」と抱負を話した。

9月1日は「防災の日」

逗子葉山で大規模訓練

「防災の日」にあわせ、逗子市、葉山町では9月1日(土)にそれぞれ総合防災訓練を開催する。

逗子市では第一運動公園



広場を会場に午前9時30分から11時10分まで。三浦半島を震源とするマグニチュード7・2、最大深度7を想定した訓練を実施。初期消火訓練やアマチュア無線を使った通信訓練のほか、救出・救護訓練、避難誘導訓練、水防訓練、炊き出し訓練、ヘリコプターによる緊急輸送訓練などが行われる。会場では展示販売や防災衣試着コーナーなどの設置も。問合せは同市防災課

☎046・873・1111まで。

葉山町では午前8時30分に震度6強の地震が発生したと想定。防災行政無線放送の後、津波浸水が予想される町内会、自治会ごとに高台に避難する。その後葉山小学校に集合し、煙体験訓練や消防救助訓練、子ども用ロープ渡過訓練など各種訓練が行われる。小学校会場では専門業者が防災用品を展示、販売する防災フェアも同時開催される予定。問合せは同町総務課防災係 ☎046・876・1111まで。

